

保管用

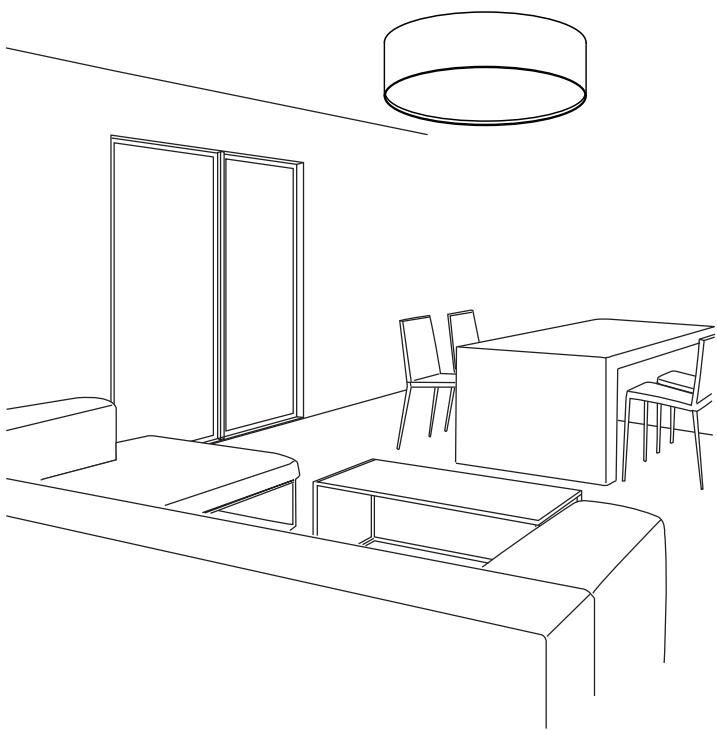
施工説明付き



取扱説明書

照明器具

住宅用照明器具 (シーリングライト)



※イラストはイメージです。

お客様へ

このたびはお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を
必ずお読みください。
本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

■本説明書は必ずお客様にお渡しください。

LEDシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を
参照ください

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
各部のはたらき	6
あかりをつける	6
リモコンの便利な使いかた	8
故障かな?と思ったら	9
お手入れについて	9
ご使用上に関するお知らせ	裏表紙
仕様	裏表紙
保証についてと点検方法	裏表紙

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には適正交換時期があります。
設置して10年経つと、
外観に異常がなくても
内部の劣化は進行しています。

点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する

火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。



禁止

- 周囲温度-5~35°C以外では
使用しない

火災の原因となります。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間
直視しない

目の痛みの原因となることがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。

◎ お手入は電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから
行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

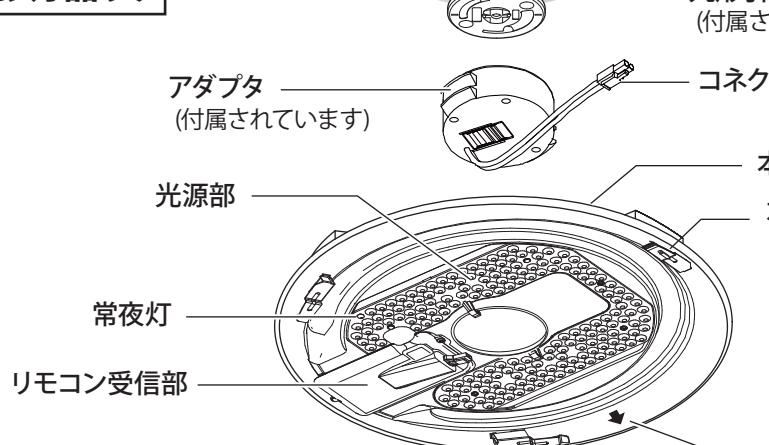
火災、感電の原因となることがあります。

◎ この器具は防湿、防雨型ではありません。

各部のなまえと付属品

施工する前にまず付属品をご確認ください

照明器具



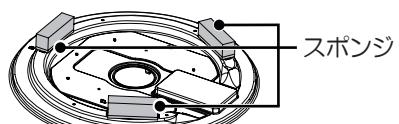
丸形引掛シーリングボディ
(付属されています)

コネクタ(アダプタの電源コード)

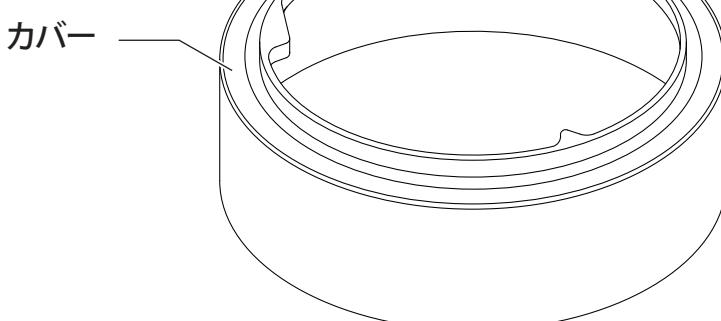
本体

カバー
取付金具

照明器具の本体の裏面に付いているスポンジ
(3カ所)は、取り外さないでください。
本体の回転防止のために必要です。



位置合わせシール

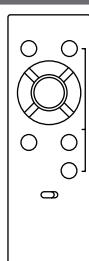


お願い

- ・アダプタは、専用(付属)のものを使用してください。
専用のもの以外を使用すると、落下や破損する場合があります。
- ・万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、
入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチがない場合は、
電源コネクタを一度外し、取り付け直してください)

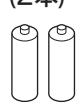
リモコン付属品

リモコン
(1個)



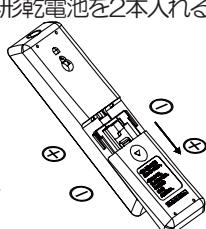
操作方法は、
6~9ページ
参照

単4形
乾電池
(2本)

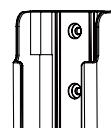


※動作確認用です

- リモコンのフタを開けて、
単4形乾電池を2本入れる。

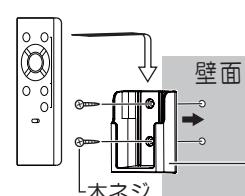


リモコン
ホルダー
(1個)



リモコン
ホルダー用
木ネジ (2本)

- リモコンホルダーを使用して、
紛失防止用に壁掛け収納できます。



壁面

リモコン
ホルダー

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。



10ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

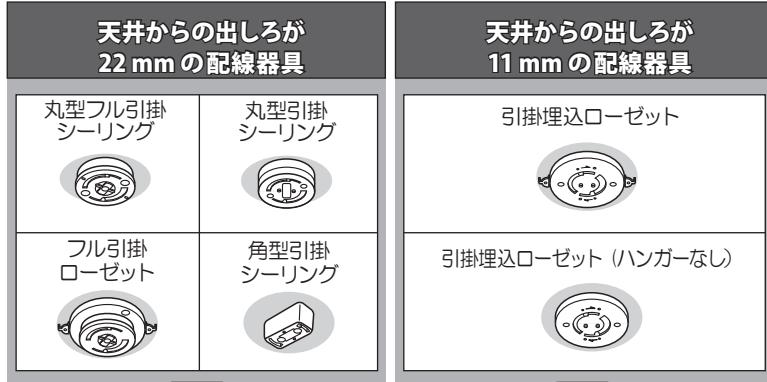
天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2 の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。



2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃（2カ所）を配線器具のスライド穴に入れる

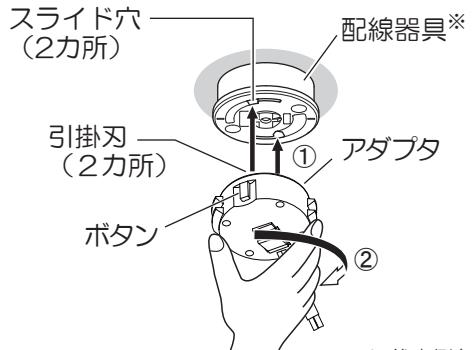
②カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



※ 代表例を表示しています

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

※配線器具により本体の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→取り付けできない場合は、

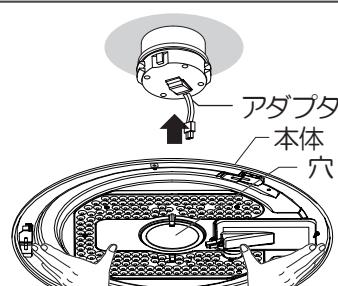
(1) アダプタを外す

6ページ「照明器具を取り外す」手順③参照

(2) 再度、手順 2 を行う

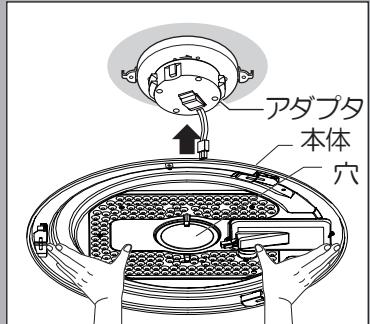
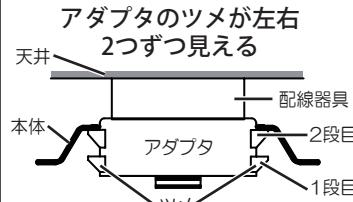


本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



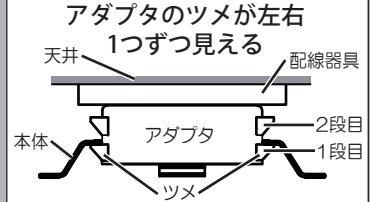
**カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる**

アダプタの本体取り付け位置



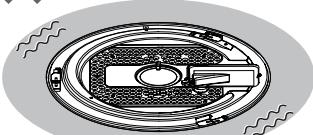
**カチッと1度、音が
するまで押し上げる**

アダプタの本体取り付け位置

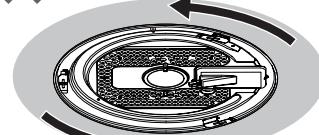


4 本体が正しく取り付けられているか確認する

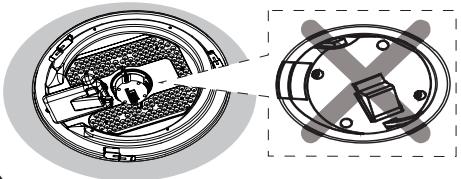
× 本体がグラグラする



× 本体が簡単に回転する



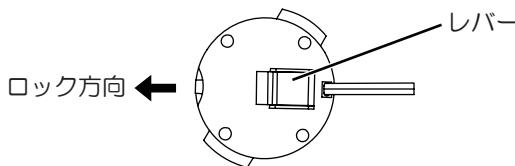
× アダプタと本体が斜めにずれている



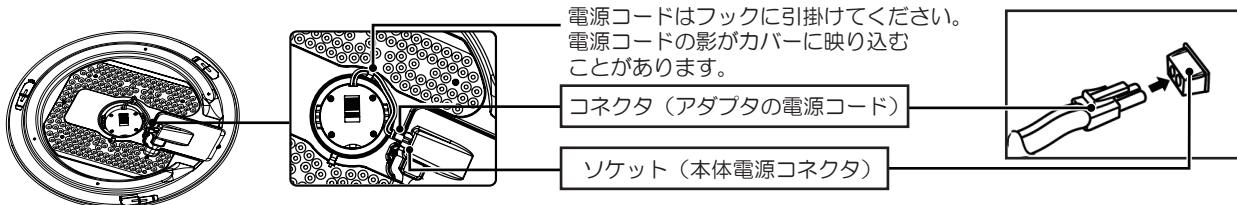
上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。

5 アダプタをロックし、コネクタと接続する。

- ① アダプタのレバーを「カチッ」と音がするまで
ロック方向へスライドして、ロックする。



- ② コネクタをソケットに差し込み、抜けないことを確認する。

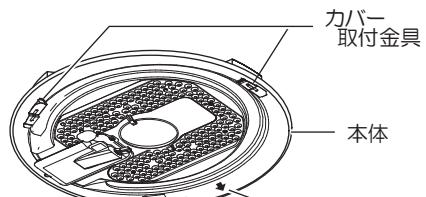


確認

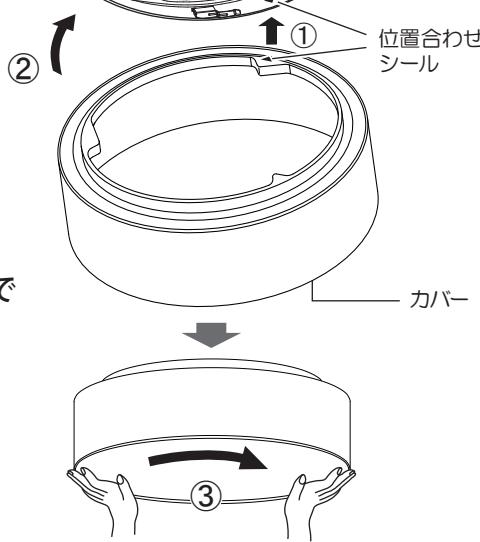
- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順③に戻る。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（☞次ページ「照明器具を取り外す」手順①参照）、本体を押し上げる（☞前ページ手順③参照）。

6 カバーを取り付ける

- ① 本体とカバーの位置合わせシールを合わせる



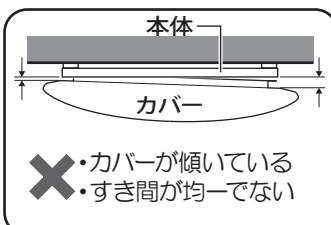
- ② カバーを持ち上げる



確認

- カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1)コネクタを外す（☞次ページ「照明器具を取り外す」手順①参照）
(2)本体を押し上げる（☞前ページ手順③参照）
(3)コネクタを差し込む（☞上記手順⑤参照）
(4)再度、手順⑥を行う

- カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、カバーの凸部がカバー取付金具にはまっていない可能性があります。
カバーを左に回して外し、再度、手順⑥を行う



警告

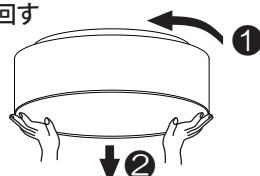
- ・本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。
- ・コネクタを差し込んだ後に、本体を回転させない
コネクタが外れて、発熱・発火の原因となります。

注意

- カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

- ① カバーを左に約20度回す
② カバーを外す



確認

- カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し、本体を正しく取り付ける
（☞左記（確認）手順①～③参照）

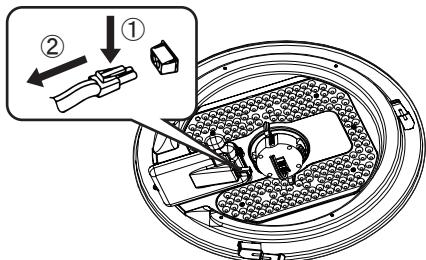
照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

1

コネクタを外す

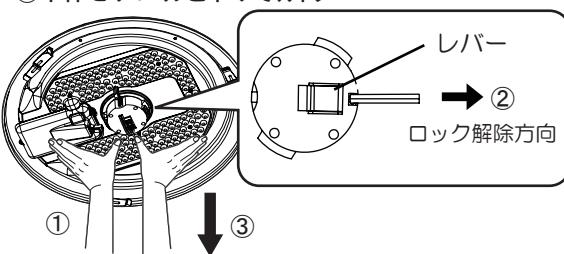
- ①つまみながら
- ②引いて、外す



2

本体を外す

- ①本体が落ちないようにしっかりと支える
- ②アダプタのレバーをロック解除方向にスライドさせ、解除する。
- ③本体をゆっくりと下げる、外す

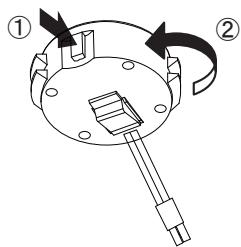


3

アダプタを外す

- 赤いロックボタンを押しながら、左に回す

ロックボタン



各部のはたらき

リモコン

L E D送信部

操作する時は、ここを照明器具へ向けてください。

ゆっくりおやすみタイマー(30分、60分)(☞7ページ)

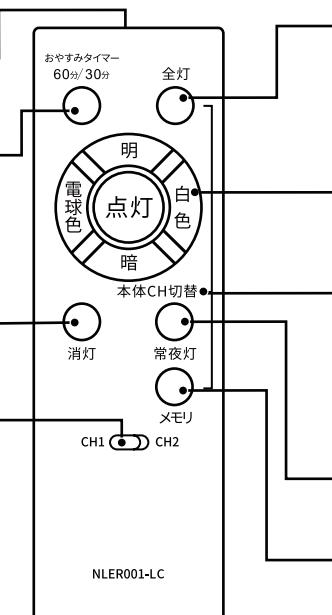
30分後または60分後に照明を消灯させます。

消灯(☞7ページ)

照明を消灯させます。

チャンネル切換(☞8ページ)

器具のチャンネルを選択します。



全灯(☞7ページ)

LEDが昼白色、明るさ100%で点灯します。

点灯(☞7ページ)

「点灯」ボタンに記憶させた明るさと色で点灯します。工場出荷時は明るさ約70%が記憶されています。

明・暗(☞7ページ)

明るさを調整します。全般照明：100%～約5%

電球色・白色(☞8ページ)

光色を調整します。電球色～昼光色

本体チャンネル変更(☞8ページ)

常夜灯(☞7ページ)

常夜灯(LED)が点灯します。

メモリ(☞8ページ)

明るさと色をメモリ(記憶)する時に使用します。

あかりをつける

壁スイッチで操作

■ 点灯・消灯する



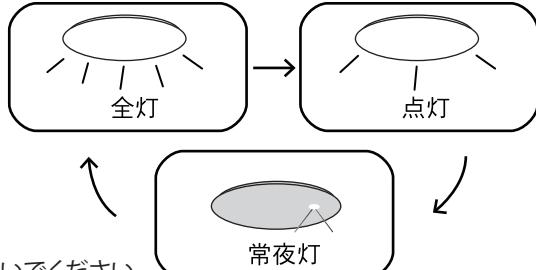
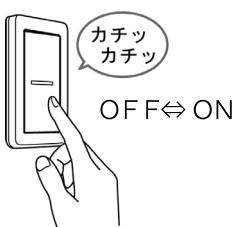
前回と同じ点灯状態で点灯します。



消灯します。点灯状態(明るさ)が記憶されます。

■ 点灯状態を切り替える

- 壁スイッチを1秒以内にOFF ⇄ ONすると、点灯状態が以下の通りに切り替わります。



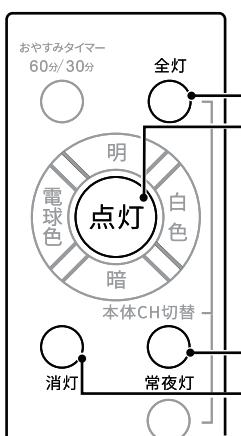
- 一つの壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。

お知らせ

- 壁スイッチを「OFF」にする前にリモコンで消灯した場合は、再び壁スイッチで「ON」にすると、常夜灯が点灯します。
- 壁スイッチで切り替えて常夜灯を点灯した場合は、リモコンで設定した常夜灯の明るさで点灯します。(☞7ページ)

リモコンで操作

リモコンは照明器具の壁スイッチがONの時に使うことができます。

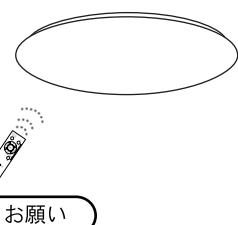


■全光点灯します

- 消灯した状態からは、ゆっくり点灯します。

■点灯します

- 点灯ボタンに記憶させた明るさと色で点灯します。
「点灯」ボタンに記憶させる方法は、「明るさと色のメモリ」の項をご覧ください。(☞8ページ)

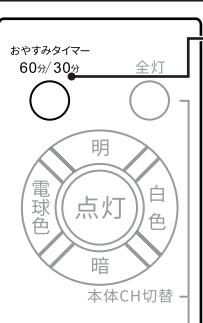


お願い

- リモコンの送信部を照明器具に向けて操作してください。

タイマー予約

… ゆっくりおやすみタイマーの予約のしかた

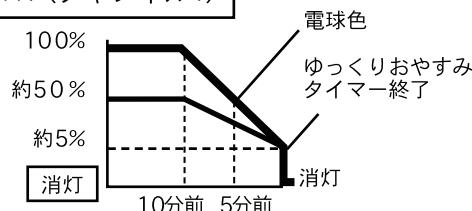


■「60分/30分」を押す

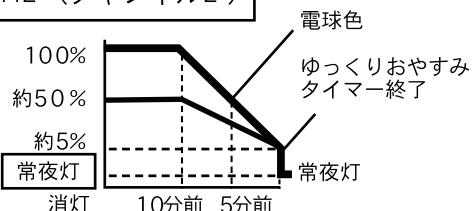
- 1回押すと「ピピッ」と2回音が鳴り、30分後に消灯します。
- さらに1回押すと「ピピピッ」と3回音が鳴り、60分後に消灯します。
(押すごとに切り替わります)

チャンネル設定によって消灯または常夜灯点灯が選べます。
設定した時刻の約10分前から少しづつ暗くなります。

消灯にする場合 CH1 (チャンネル1)



常夜灯にする場合 CH2 (チャンネル2)

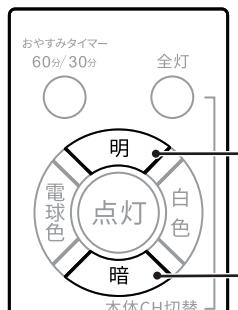


お知らせ

- ゆっくりおやすみタイマーを解除する場合は、点灯ボタン(「全灯」「点灯」「常夜灯」など)を操作してください。
- 常夜灯が点灯している時にゆっくりおやすみタイマーを設定した場合、チャンネル設定が「CH1」「CH2」どちらの場合でも、30分後または60分後に消灯します。この場合、ゆっくり暗くなりながら消灯しません。
- チャンネル設定のしかたは、☞8~9ページ「チャンネルの合わせかた」をご覧ください。

明るさの調整

明るさは100%～約5%、常夜灯は6段階の調整ができます。



■照明が点灯している状態で、「明」または「暗」ボタンを押す

- 1回押すと、1段ずつ明るさが変化します。
- 押したままにすると、連続して調整できます。※1
- 1回ずつ押して、明るさが上限・下限に達し、これ以上の調整ができないお知らせとして「ピピッ」と音が鳴ります。※2

※1 冬季など周囲の温度が低い場合、点灯直後は連続して調整できないことがあります。
その場合は、1回ずつ押して調整してください。

※2 「明」または「暗」を押したままにすると、それぞれの明るさの上限・下限のお知らせとして「ピッ」と音が鳴ります。

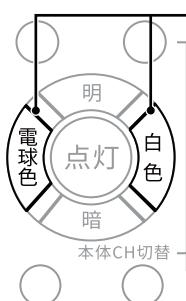
光色	明るさの段階
昼白色(全灯)	20段階(約5%～100%)
電球色	19段階(約5%～約70%)
昼光色	20段階(約5%～約100%)
常夜灯	6段階

お知らせ

- 常夜灯の明るさは、常夜灯が点灯した状態で調整してください。
調整した明るさは、メモリ(記憶)されます。
- 消灯状態で「明」ボタンを押すと消灯前の光色の下限の明るさで点灯します。

■ 色の調整

照明の色を涼しげな白色やあたたかみのある電球色に変えることができます。



■ 「白色」または「電球色」ボタンを押す

- 1回押すと、1段階ずつ電球色、または昼光色に近づきます。(光色の段階：21段階)
- 押したままにすると、色が連続して変化します。※1
- 1回ずつ押して、色が昼光色・電球色に達し、これ以上の調整ができないお知らせとして「ピピッ」と音が鳴ります。※2

※1 冬季など周囲の温度が低い場合、点灯直後は連続して調整できないことがあります。
その場合は、1回ずつ押して調整してください。

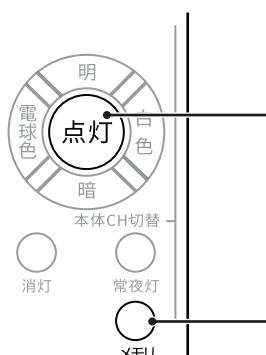
※2 「白色」または「電球色」ボタンを押したままにすると、昼光色・電球色に達し、これ以上の調整ができないお知らせとして「ピッ」と音がなります。

お知らせ

- 常夜灯の場合は、「白色」「電球色」ボタンを押しても色の調整はできません。

■ 明るさと色のメモリ

お好みに調整した照明の明るさと色を点灯ボタンにメモリ（記憶）させることができます。



■ メモリしたい明るさと色で点灯し「メモリ」ボタンを押しながら、「点灯」ボタンを押す

- 「ピーッ」と音が鳴って、現在の調光・調色状態がメモリされます。
- すでにメモリした設定を変更する場合は、同じ手順を繰り返してください。

お知らせ

- 工場出荷時は、以下に設定しています。
点灯：明るさ約70%

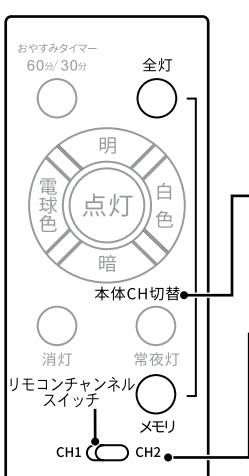
チャンネルの設定方法

■ チャンネルの合わせ方

同一の照明器具を2台使用する場合

お買い上げ時（工場出荷時）は、照明器具・リモコンのチャンネルは「CH1」に設定しております。

■ 照明器具とリモコンのチャンネルを「CH2」にする場合



1 リモコンで照明器具が操作できるか確認する

- リモコンのチャンネルスイッチが「CH1」で、全灯・点灯・消灯の操作ができるれば、照明器具のチャンネルは「CH1」の状態です。



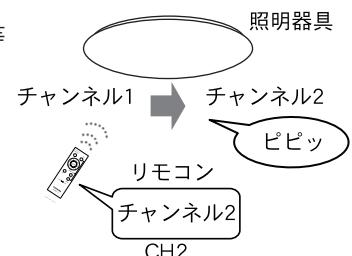
2 「メモリ」を押しながら「全灯」を押す

- 「ピピッ」と音が鳴って、照明器具のチャンネルが「CH2」に変更されます。

3 「リモコンチャンネル」スイッチを「CH2」に合わせる

- リモコンのチャンネルスイッチが「CH2」で、全灯・点灯・常夜灯・消灯等の操作ができることを確認してください。
- 再度設定を「CH1」に変更する場合は、手順2を行い、リモコンチャンネルスイッチを「CH1」に合わせてください。

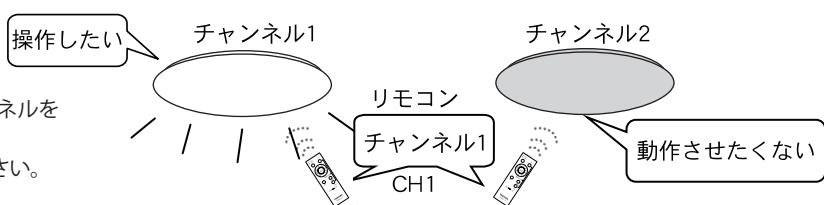
※ チャンネル「CH2」から「CH1」に変更する場合は、手順2を行った時に「ピッ」と音が鳴ります。



■ 2台の照明器具を一つのリモコンで個別に操作する場合

- 2台の内1台の照明器具を、手順1~3までの操作で
照明器具のチャンネルを「CH2」にしてください。

※ 照明器具が2台設置されていて、それぞれの本体チャンネルを
「CH1」と「CH2」にする場合、1台の照明器具の
壁スイッチはOFFにしてから、手順1~3を操作してください。



故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
本体が取り付かない	アダプタが正しく取り付いていない	①アダプタを外し ②再度、アダプタを取り付ける	6ページ③ 4ページ②
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、..... ②本体を押し上げてから ③コネクタを再度、差し込む	6ページ① 4ページ③ 5ページ⑤
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く(約1秒以内) OFF→ONにする	6ページ 「壁スイッチで操作」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	— 6~7ページ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする (「おやすみタイマー」で消灯すると 「おやすみタイマー」はOFFされます)	アページ 「タイマー予約」
リモコンで操作 できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	各部のなまえと付属部品
	リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	8~9ページ 「チャンネルの設定方法」
リモコン操作時に ちらつく	調色、調光動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常では ありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。	

上記の処置を行っても 現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
- ②器具のチャンネルを変更する 8~9ページ「チャンネルの設定方法」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、
定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、
中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- 木材、紙、布等の場合は水拭きせずに、やわらかい布またははたきで、
こまめにホコリを落としてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるリモコンが効きにくくなります。

確認

シンナー、ベンジンなどの
揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身での取り替えはできません。

【リモコンの留意点】

- リモコンを落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障の原因となります。
 - 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
 - リモコンで消灯した後に停電が発生した場合、全光点灯などになることがあります。
 - リモコンからの信号を照明器具が受信したときに、常夜灯がちらつく場合があります。
 - 電池は半年を目安に取り替えてください。
その際は、必ず同時に2本とも新しいものに交換してください。
- ※付属の乾電池は最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を外してください。
液漏れなどでリモコンを傷める原因となります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

仕様

品番	使用電圧	周波数	最大消費電力(昼白色時)		入力電流	カバー
DCL-42069	AC100V	50/60 Hz共用	31.1W	リモコンOFF時(待機時状態) 1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.32A	ベージュ色
DCL-42070						ブラウン色

- 調光機能により消費電力がかわります。
- LED光束維持時間は、40000時間です。(LEDが点灯しなくなるまでの総点灯時間または、器具光束が点灯初期の70%以下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。LED照明器具の保証期間ではありません。)
- 品番は器具本体表示をご参照ください。

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は3年です。
但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用的場合は、上記の半分の期間とします。
2. 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。
3. 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ・LEDが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は CSセンター(0570) 003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

大光電機株式会社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F